

静岡市立日本平動物園

Z しずおか



NIHONDAIRA ZOO
OFFICIAL MAGAZINE
ZOO SHIZUOKA

特集

猛獣館299に住む ネコ科の動物たち

獣医の1日に密着
獣医は動物とZOOっといっしょ!



日本平動物園
NIHONDAIRA ZOO

83

2017

【ごあいさつ】
新園長からみなさまへ 2

【コラム】
は虫類館の名脇役たち 3

【特集】
猛獣館299に住む
ネコ科の動物たち 4

【ヒストリー】
日本平動物園 飼育の歴史
～ペンギン編～ 8

獣医の1日に密着
獣医は動物と
ZOOっといっしょ! 10

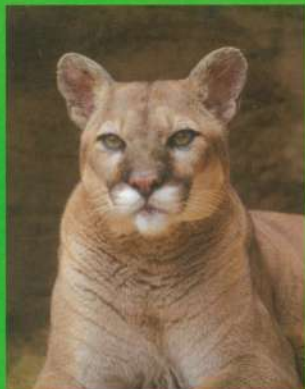
動物たちと園内のできごと 12

春のフォトコンテスト
めざせ! 動物園博士 14

スタッフオススメ
おさんぽスポット 15

表紙の写真

Cover Photo



ピューマ

食肉目 ネコ科

主に北アメリカのロッキー山脈の北端から南アメリカのギアナ高地や、アマゾン盆地、アンデス山脈の南端にかけて分布するネコ科の食肉類。単独行動で、広大な行動圏を持ち一晩で数十kmも移動する。視覚が非常に発達しており、聴覚もきわめて鋭い。跳躍力にも優れ木登りもうまい。好んで水には入らないが、泳ぎも得意。



新園長からみなさまへ



命を感じる、驚きと感動の場所に

静岡市立日本平動物園は、「驚きと感動、そして夢のある動物園」を目指し、2013年4月にリニューアルオープンしました。リニューアルした多くの獣舎は、野生動物の生息環境を再現した展示場や行動展示を取り入れ、動物たちの姿を様々な角度から観察することができます。動物に関する掲示板を多く設置した獣舎では、等身大の動物たちを間近で観察することで、親近感を持ちながら、その形態、行動(習性)、食性などを学んでもらえると思います。

ホッキョクグマの展示場の前には、環境教育のスペースとして地球温暖化をテーマとした映像を流しています。温暖化により北極圏の氷が溶ければ、ホッキョクグマの餌場がなくなり餓死して絶滅の危機に瀕してしまう。そんな動物の生息地や絶滅危惧種の現状を知ること、「気づき」、「考え」、「保護」に役立つような次の行動を起こしてもらえればと思います。

また、園内には、もう1つ別の動物園があります。野生動物の展示ではなく、家畜、家禽やウサギ、ヒヨコなどの小動物に触れ、生命のぬくもりや大切さを認識することができる「ふれあい動物園」です。小さなお子様もゆっくり楽しめる人気のふれあい動物園は、国内有数の充実した施設となっています。多くの命のぬくもりに触れ、その可愛さに癒されたいと思います。

「驚きと感動」と共に、楽しく学べる動物園を目指し、気づきの場として、命を感じる場、命を考える場として大事なことを伝えていけるよう取り組んでいきたいと思っています。ご支援をよろしくお願い致します。



園長 柿島 安博

1985年獣医師として静岡市役所に入庁。衛生試験所や保健所食品衛生課での勤務を経て、2006年日本平動物園動物病院担当に配属。2017年4月より同園長に就任。



は虫類館の名脇役たち

は虫類館ではオオアナコンダやクチヒロカイマン、リクガメなどに目が行きがちですが、小さな部屋に展示されている動物たちも魅力がいっぱいです。今回はそんな名脇役たちにスポットを当てて紹介したいと思います。



ミドリニシキヘビ

木の上で生活することに特化した綺麗な緑色のヘビで、幼体は赤や黄色など鮮やかな体色をしている。この個体は赤から緑へ変化する途中。



エポシカメレオン

烏帽子(えぼし)を被ったような頭の形が特徴のカメレオン。舌を伸ばして餌を捕まえる様子は必見!



コルデンシス
ツリーモニター

成長すると全長90cmほどになるオオトカゲの仲間。緑色の体に黒い斑紋があり、スラッとした姿が美しく見惚れてしまうほど。



アズマヒキガエル

園内で捕獲した個体で、どんどん大きくなっている。普段の動きは鈍いが、餌を食べる時は目にも止まらぬ速さで舌を伸ばす。

動物を魅せる! 展示室のレイアウト

は虫類館では様々な種類の爬虫類・両生類を展示していますが、実はバックヤードでも出番を待っている動物たちがたくさんいます。それらの中には密輸などワシントン条約違反で保護され、(公財)日本動物園水族館協会から、飼育委託された動物も多くいます。カッコいい動物や面白い動物ばかりなのでみんな展示したいところですが、スペースの問題でそれは叶いませ

ん。動物の死亡などで空き部屋ができ、別の種を展示する時には、飼育員がその動物の生態に合わせて部屋を作り替えます。動物がストレスを感じないように隠れられる場所を作ったり、かつよく木を登る姿を想像してレイアウトしたりと、それぞれの動物の魅力と生息地の雰囲気が最大限に伝わるような展示を目指しています。

飼育係 久保 暁



グリーンイグアナ展示室

トラとライオン

アムールトラ

猛獣館299の2階の入り口を入ると、すぐ目の前にアムールトラが見えてきます。トラはネコ科の中でもライオンと1位2位を争う体の大きさで、なかでもアムールトラは最大の種であるといわれています。擬岩の上を悠々と歩く姿、ガラスの目の前まで来て咆哮する姿、どの姿も勇ましく迫力満点です。体色は黄褐色から赤褐色で、黒褐色の縞模様があり、寒い地方に住んでいるため毛が長く密に生えています。夏毛と冬毛で少し色味が変わりますが、おなかの毛は年中白色で、縞模様がくっきり見えます。

ナナ ♀18歳

1999年に当園にやってきってから、長年連れ添ったトシ(♂、2010年死亡)とのあいだに多くの仔をもうけ、育ててきた立派なお母さんトラです。もうおばあちゃんと呼

べるほど高
齢であるため、

現在は午前中の短い
時間のみ展示しています。

ナナに会いたい方は、ぜひ朝一番
に動物園にお越しください。



フジ ♂6歳

ナナの最後の仔です。毛艶が美しく、体格も良いので遠くから見てとても目立ちます。フジは展示場の擬岩の上を歩いていることが多いのですが、これからの暑い時期はプールに入ろうとガラス前に来ることが増えます。近くに来てくれたときに、毛艶の良さを見るチャンスですのでお見逃しなく。



注目ポイント

背中とお腹の毛の境目をはっきりと見るのであれば、夕方エサを食べ終わった後がベストです。おなかを見せてゴロ〜ンと、警戒心に欠けた無防備な姿がごろんいただけます。



ネコ科の動物でも特に人気のあるトラとライオン。

アムールトラはネコ科の中でも最大の大きさを誇り、ライオンは百獣の王と称されています。

ライオン

ライオンと聞き皆さんが想像するのは、立派なたてがみが生えた、体の大きなオスライオンだと思います。メスにはたてがみはなく、体もオスと比べると一回りくらい小さいです。タイミングが良ければ、2頭で寄り添いながらのんびり寝ている姿やじゃれあう姿などを見ることができます。

こじれた三角関係



群れを作り生活するライオン

当園ではキング(♂16歳)、マッチ(♀10歳)、ムール(♀10歳)を飼育しています。ライオンはネコ科の中で唯一群れを作り生活する動物で、その群れのことを「プライド」といいます。当園でも3頭一緒に生活するところをお見せしたいのですが、なかなかうまくいきません。なぜなら、3頭とはいえど序列があり、この序列を理解し守らなければ群れとしての生活はできないからです。優位な立場のオスであるキングはいいとして、メス2頭の立ち振る舞いが肝となります。

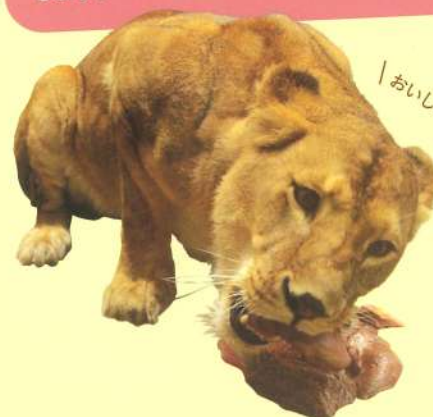
マッチは自分の立ち位置をちゃんと理解し行動できるのですが、ムールはいまひとつ理解できていないようで、和を乱してしまいます。それをわかってか、キングもマッチのことは大好きですが、ムールのことはそれほど好きではありません。キングに振り向いてもらいたいけど振り向いてもらえない、ムールの怒りの矛先は、キングに好かれているマッチに向かいます。そのため、メス2頭の仲はとても悪く、一緒に放飼場にしようものならすぐに喧嘩が始まります。

現在はキングとマッチ、キングとムール、ペアを変えて交互に展示をしています。ペアによって日中の過ごし方も違うので、ぜひ見比べてみてください。

飼育係 中川 輝美

お肉もぐもぐ

ネコ科動物のごはんはお肉です。当園では馬肉、鶏肉、鶏頭、鹿肉、レバーなどを、個体ごとに必要な量だけ与えています。同じネコ科の動物でも、食べる順番やスピードはさまざまで、個性が強く表れます。アムールトラのフジは馬肉が大好き、鶏頭はあまり好きではないのでゆっくり時間をかけて食べます。ライオンのムールは食べられるものなら何でもオッケー、一目散に食べ始めあっという間に完食します。



仲良く
スキンシップ



ジャガーとピューマ



がっしりした足で
体を支える!

ジャガー

アメリカ大陸南部のジャングルに生息するジャガーは、木登りが得意なネコ科動物の中では一番体が大きく、器用に細い木の幹をつたい悠々と登っていきます。猛獣館299では野生さながらに太い木の幹で休むジャガーの姿を、上からも下からも観察できます。



「きーん」



黒ジャガーのアラシ

ジャガーは黄色地に黒い模様があるのが一般的ですが、遺伝子の関係でまれに地の色も黒い個体が生れます。当園で飼育しているアラシ(♂15歳)も黒ジャガーで、凛々しい顔立ちにクールな性格、1日中張り付いて見てくださるお客様もいるほどの人気です。しかし実は、見たことのないものが突然現れると、少し浮き足立ちながらまっすぐそちらへ向かっていくほど好奇心旺盛です。また飼育員にかまってほしいときは、お腹を上をゴロンと転がりながら、こちらが気づくまでじっと見つめていたりするよう可愛らしい一面もあります。



一般的な黄色いジャガー

ジャガーとヒョウ

ジャガーはヒョウと間違われることが多いのですが、ヒョウより体が大きく、体に対して頭が大きいのが特徴です。模様も似ていますが、実は違いがあります。



ジャガーは黒い輪の中に点が入っています。



ヒョウは輪の中に点がありません。

新たなスターが来園!

アラシ1頭で少し寂しかった獣舎に、オスのジャガーがやってきます! 名前は『卯月小助(うづきこすけ)』。2016年4月21日に天王寺動物園で生まれた双子のジャガーのうちの1頭で、おとなしい性格だそうです。ぜひ会いに来てください。

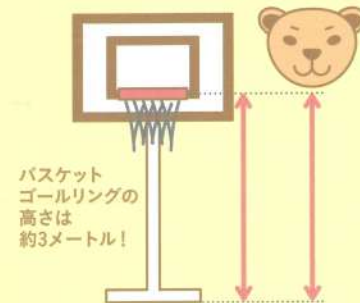


「待ってるよ」

ジャガーやピューマは、トラやライオンに比べると大きさや力強さでは劣りますが、軽量の体はジャンプ力に優れ、柔軟でしなやかな動きが自慢です。

ピューマ

ピューマはアメリカ大陸に広く生息していて、生息場所によって体の大きさが変わります。手足の筋肉はたくましく立派な体つきで、ジャンプ力に優れています。助走をつけずに静止した状態から、垂直に3メートルも飛び上がることができる



バスケット
ゴールリングの
高さは
約3メートル!

いわれています。猛獣館299のピューマの展示場は3階と4階に渡った高さを生かしたつくりになっているので、タイミングが良ければピューマが颯爽と飛び上がる姿を見ることができます。



リンカーン

当園で暮らすリンカーン(♂16歳)のチャームポイントはまん丸の目です。ピューマは大型ネコ科の中では眼球が大きく、さらにリンカーンはその目をパッチリと開けているので、体の割に小さな顔の効果もあってか、可愛いと評判です。ただその性格は見た目ほど可愛くはなく、非常にせっかちで短気、お腹が空くと機嫌が悪くなり、お客様に向かってギャーギャーと八つ当たりをします。

飼育係 中村 あゆみ

ハズバンダリー トレーニングに挑戦中!

高齢になってきたジャガーやピューマの健康管理のために、ハズバンダリートレーニングに取り組んでいます。ハズバンダリートレーニングとは、ごほうびなどを用いて、治療や飼育管理に必要な行動を動物が積極的にとるように促す訓練です。

現在トレーニングに取り組んでいるのは、ジャガーのアラシとピューマのリンカーンです。



トレーニング中のアラシ。
飼育員と息ぴったり。



「今日も頑張る!」



生息地のジャングルを再現した展示場



生息地のロッキー山脈を再現した展示場



日本平動物園

飼育の歴史 ～ペンギン編～



ペンギン飼育の始まり

日本平動物園のペンギン飼育は、昭和44年の開園とともに始まります。開園時に建設されたペンギン舎(当時は“ペンギン池”と呼ばれていました)は、南極の冰山をモチーフにしたもので、ここでフンボルトペンギン10羽を飼育していました。しかし実は、フンボルトペンギンは南米の太平洋沿岸に生息するペンギンで、南極には生息していません。現在でも誤解されがちですが、ペンギンといえば南極というイメージがとても強かったのでしょう。



建設中の初代ペンギン舎

南極の冰山をモチーフにした初代ペンギン舎(昭和44年～昭和60年)



初代ペンギン舎

初めての人工育雛 ～ロッキーの誕生～

現在では、フンボルトペンギンの飼育繁殖技術が確立されて、当園でも雛が孵化・育成していますが、飼育開始当初は繁殖がなかなかうまくいきませんでした。当時のペンギン池には安心して営巣できる場所がなく、卵があちらこちらに転がっているという有り様で、当時の飼育員が、自分たちで巣穴を掘って安心して営巣できる場所を整備していきました。こうした努力が実り、昭和52年に当園で初めて人工育雛で育成したのがロッキー(♂)でした。ペンギンの飼育開始から実に9年が経過していました。当時の飼育員は、ミンチにしたアジを注射器を使って与えてロッキーを育てました。この育雛方法は現在でこそ一般的ですが、当時はまだ目新しいものでした。人工育雛で育ったロッキーは立派に成長して、長い間ペンギン池の王者として君臨し、平成5年に死亡するま

でに9羽の雛の父親となりました。

初の人工育雛で育成したロッキー(♂)



フンボルトペンギンだけじゃない! かつて飼育していたペンギンたち

日本平動物園ではかつてフンボルトペンギンとは違う種類のペンギンも飼育していたことがあります。昭和45年から昭和60年までの間、フンボルトペンギンとともにオウサマペンギンを飼育していました。彼らはフンボルトペンギンよりもずっと大きく、泳いでいても、毛づくろいをしていてもまさに王様の名に相応しい貫禄があり、多く



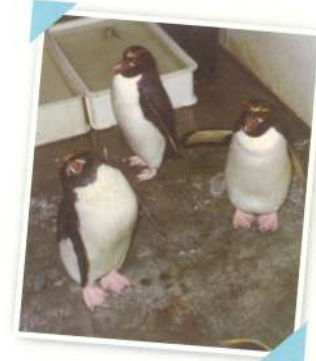
① オウサマペンギン(中央)とフンボルトペンギン(下)



② オウサマペンギンは飼育係と一緒に園内を散歩していました

の来園者を楽しませてくれました。しかしオウサマペンギンは南極付近に生息するペンギンであり、冷房設備のなかった当時のペンギン池で飼育するには静岡の温暖な気候は適していなかったようで、どの個体も5～6年で死亡してしまいました。

また、昭和56年7月に焼津港でマグロと一緒に水揚げされたイワトビペンギン2羽とマカロニペンギン7羽を当園で引き取り飼育していたこともあります。



③ 焼津港でマグロと一緒に水揚げされたマカロニペンギン

変わりゆくペンギン舎

昭和60年4月にペンギン舎の建て替えがおこなわれました。このとき完成した2代目ペンギン舎はフンボルトペンギンの生息地に近い環境を再現し、懸案であった趾瘤症(足裏に瘤ができる病気)を防止するために、砂と緑を主体に造られました。



① 緑と砂を主体にした2代目ペンギン舎(昭和60年～平成23年)



② 2代目ペンギン舎はフンボルトペンギンの生息環境を再現



③ 現在のペンギン館(平成24年～現在)



④ 大きなプールで悠々と泳ぐフンボルトペンギン

次の世代のために ～コスモの来園～

昭和44年から現在までにフンボルトペンギン計185羽を飼育し、121羽の雛が誕生しました。しかし長い間園内のペンギン同士でペアを組ませてきたため、ほとんどの個体が血縁関係になってしまいました。血のつながりが濃くなると病気になりやすいなどの問題が起こるため、血縁の近いペアの卵は取り上げて、繁殖を止めざるを得ません。このままでは個体数が減ってしまい、日本平動物園からフンボルトペンギンがいなくなってしまう。

そこで平成28年に野毛山動物園から血のつながりの遠いコスモ(♂)を譲り受け、新たに当園の仲間に加わってもらうことにしました。ペンギンは移動によって受けるストレスが大きいのですが、コスモはすぐに新しい群れになじみ、ペアの相

手を見つけることができました。このペアは今年に入って産卵・抱卵をし、無事に雛が孵りました。新しく生まれた雛は、多くの野生動物たちを次世代に残すために、国内さらには世界の動物園・水族館が協力し合わなければならないことを教えてくれています。

飼育係 山本 幸介



① 野毛山動物園より来園したコスモ(♂)



② 4月1日に孵化したコスモの子ども

スタート

まず出勤したら…

毎朝出勤したら、作業着に着替えて鍵や無線機を身に付け、動物病院に入院している動物の様子を見て回ることから一日が始まります。



1

AM7:30

日誌を書きます

7時30分に動物病院の隣の飼育棟に行き、各飼育員が昨日のうちに書いた「飼育日誌」を読みます。読みながら飼育動物の状態を頭の中に入れ、大事な内容を「獣医日誌」に書き写してまとめます。

2

AM8:00

病院内で…

日誌を書き終えたら動物病院へ戻り、入院動物の治療、病院内の掃除、検疫動物の世話などをします。検疫とは、新しく動物園へやってきた動物が感染症などをもっていないか検査することで、健康が確認できるまで動物病院で飼育します。



↑うんちの中に寄生虫の卵があることもあります

3

AM8:30

打ち合わせ&報告

8時30分から園長や事務所の人たちと本日の予定について打ち合わせをします。このときに前日あったできごと(動物の出産・死亡・入院など)を報告します。



PM4:30

再び巡回へ、そして確認!

16時30分の閉園後、また園内の巡回に出かけます。夕方の巡回は、動物の治療や観察の他に、鍵のかけ忘れがないか、お客さんがまだ残っていないか、忘れ物が落ちていないかなどの確認もします。その後は、入院動物の見回り、入院動物の治療、事務仕事などを行い、一日の仕事が終わります。



今日もおつかれさま

獣医は動物と Zoo っといっしょ!

獣医の1日に密着!

3

AM9:00

巡回へ出発!

打ち合わせが終わったら、診療道具が入った診療カゴを持って園内の巡回に出かけます。カゴを持って鍵をジャラジャラぶら下げて歩いている人がいたら、それは動物病院の獣医です。

午前中いっぱいかけて、動物を治療(往診)したり動物の様子を観察したりしていきます。動物園の全動物なので、その数なんと約750点!



↑診療カゴ



↑診療カゴの中身



↑おばあちゃんポニーに注射



↑サイの耳から採血

PM2:00

検査や手術など…

ゾウのトレーニングの後は、動物の捕獲、手術、大がかりな治療や検査、死亡動物の解剖、野生鳥獣の治療、薬作りなどなど…毎日違った内容で、さまざまなことをやります。



↑保護された野生のサギ



↑ブラッザグエノンの手術



↑猛獣は吹き矢で麻酔をかけます



↑錠剤の薬を粉にするなど、動物に合わせて薬を作ります

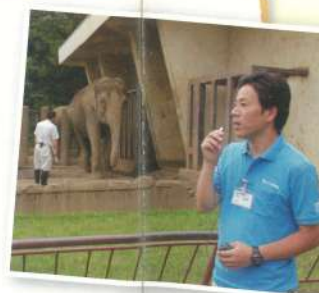
日本平動物園には現在6人の獣医がいます。動物病院で働いている獣医のほか、園長や飼育係長、動物のエサを管理する飼料担当者(言ってみれば動物の栄養士)も獣医です。ここでは、みなさんが想像するいわゆる「動物園のお医者さん」である、動物病院の獣医の一日をご紹介します。動物病院係 塩野 正義

ちなみに、動物病院には係長(病院長)を含めて3人の獣医がいますが、交代で休みをとるため3人そろう日は週に一日しかありません。

獣医 山田 大輔

獣医 塩野 正義

獣医 太田 智



AM12:00

ちょっと休憩

昼頃に動物病院に戻ったら、午前中の診療内容をノートに書いてから、昼ご飯にします。

PM1:15

ゾウのトレーニング

午後は13時から飼育員たちとミーティングをします。その後ゾウのトレーニングに参加してゾウを観察しながら、マイクを使ってガイドを行います。



園内全体を歩いて回ります!

基本的にはお客さんと同じ順路で歩きますが、バックヤード(動物の寝室や飼育員の通路)や山の中にある非公開の飼育エリアなどお客さんが入れない所の動物も全て見て回ります。他の動物園は車で回ったりすることもあるようですが、日本平動物園は歩いて回れる広さですし、園内を車で走ると危ないので歩いています。半日で2万歩を超えることもあり、また緊急時には全力で走るの、結構いい運動になります(そしてカゴを持っているので肩もこります)。





動物たちと園内のできごと 2016.12-2017.5

2016 /

12月

- 8日 イベント 「家康手植の蜜柑」を先着100組様にプレゼント
- 18日 ガイド ZOOスポットガイド(アクシスジカ)
- 20日 企画展 第9回企画展「干支展(酉)～色とりどりの世界～」(～2017年1月29日)
イベント Christmas Zoo 2016(～25日)
- 21日 観察 ゾウにかぼちゃのプレゼント
- 22日 観察 おサルにクリスマスプレゼント
- 23日 イベント 英和女学院ハンドベル部演奏会
体験 白へびとふれあい
体験 へびと記念撮影
- 24日 体験 羊毛フェルトでしろくまと雪だるまをつくろう
観察 オランウータンにケーキのプレゼント
体験 ロバと記念撮影
体験 ヤギ・ヒツジにエサやり
- 25日 観察 ロッシーの雪遊び
観察 ハイエナに骨のプレゼント
体験 キリンに葉っぱのプレゼント
観察 ビューマに骨付き肉のプレゼント
観察 チンパンジーにクリスマスプレゼント



12.18 ZOOスポットガイド



12.23 英和女学院ハンドベル部演奏会



12.24 オランウータンにケーキのプレゼント



12.25 チンパンジーにクリスマスプレゼント



2.11 白馬のおじさまと写真を撮ろう!



2.12 ライオンに負けるな! 愛の大声コンテスト

2017 /

1月

2月

- 1日 イベント Doki Dokiバレンタインウィーク(～14日)
名前募集 ブラッザグエノンの赤ちゃんに名前をつけよう!(～14日)
- 3日 体験 ウサギのエサやり
- 4日 観察 夜行性動物のごはん・おやつタイム
観察 熱帯鳥類のおやつタイム
- 5日 体験 リスザルにエサやり体験
- 11日 体験 クラフト体験(協力:シロクマLaBO、駿河総合高校)
体験 白馬のおじさまと写真を撮ろう!
- 12日 イベント ライオンに負けるな! 愛の大声コンテスト
観察 サイにハートのエサをプレゼント
- 14日 名前募集 サイチョウの名前募集(～26日)
- 19日 ガイド ZOOスポットガイド(ポニー)

3月

- 9日 訓練 猛獣脱出捕獲訓練
- 11日 イベント 春の動物園まつり(～4月2日)
- 12日 観察 サルさんおやつくだサル?
式典 ブラッザグエノン命名式
- 18日 イベント 朝の動物園(～20日)
- 19日 ガイド ZOOスポットガイド(フライングメガドーム)
- 20日 ガイド ボランティアの特別ツアーガイド
- 26日 観察 マンドリルのジョジョにバースデープレゼント



3.9 猛獣脱出訓練



3.12 ブラッザグエノン命名式



4.2 ZOOスポットガイド



4.9 ヒツジの毛刈り



4.22 アジアゾウ「シャンティ」の誕生日会



5.3～5.7 GW朝の動物園

4月

- 2日 ガイド ZOOスポットガイド(動物病院)
- 8日 イベント 日本平動物園×静岡トヨタ「スタンプラリーキャンペーン」(～9日)
- 9日 体験 ヒツジの毛刈り
- 22日 観察 アジアゾウ「シャンティ」の誕生日会

5月

- 3日 イベント 朝の動物園(7時開園)(～7日)

HAPPY BIRTHDAY!

生まれた主な動物たち

- 1/9 フンボルトペンギン
性別不詳1
- 2/20 コモンマーモセット
性別不詳1
- 4/18 フタユビナマケモノ
性別不詳1
- 4/22 アカテタマリン
性別不詳2



フンボルトペンギン



アカテタマリン

亡くなった主な動物たち

- 12/4 ピグミーマーモセット
♀1 心不全
- 1/7 ソリハシセイタカシギ
♀1 体腔内出血
- 1/22 ヤギ
♀(ミルキー) 心不全
- 2/21 オオアrikui
♀(ハツキ) 肺炎
- 3/2 オオバタン
♂(ヤッコ) 老衰



ヤギ(ミルキー)



オオバタン(ヤッコ)

来園した動物たち

- 3/2 エボシカメレオン
♂1♀1 動物取扱業者より
- 4/24 ミーアキャット
♂1 姫路セントラルパークより
- 5/2 ナイルオオトカゲ
♂1 動物取扱業者より
- 5/25 ヨツユビハリネズミ
♀2 豊橋総合動植物公園より

よろしくね♡



ミーアキャット

出園した動物たち

- 12/19 ヒツジ
♂2 淡路ファームパーク
イングランドの丘へ
- 3/21 クロミマーモセット
♀1 甲府市遊亀公園附属動物園へ
- 4/24 アカテタマリン
♂1♀1 千葉市動物公園へ
- 5/11 シロフクロウ
♂1 よこはま動物園ズーラシアへ



ヒツジ



クロミマーモセット

春のフォトコンテスト



準特選 よいしょ! 竹内佑介さん



特選 kiss 藁科仁志さん



準特選 一番 露木吟子さん



入選 春の気配に 楠本千明さん



入選 駆ける 山田勝彦さん



入選 ぺろり 齋藤友瀬さん



入選 Look! 久保山健太さん



入選 ねえ、あそぼっ! 山本美映さん

めざせ! 動物園博士

動物園ファンのための「めざせ! 動物園博士」は2017年1月29日に専門4、2月5日に入門、5月21日に専門1が実施され、7人の博士が誕生しました。詳しい情報については、静岡市動物園協会(TEL054-262-3252)にお問い合わせ、または、ホームページ(<http://www.szga.jp>)をご覧ください。

【専門コースその4】修了の皆さま



【入門コース】修了の皆さま



【専門コースその1】修了の皆さま



新たに誕生した「動物園博士」



金岩史和さん 絵里さん 史恵さん 里和さん



大多和淳史さん 春香さん



深沢啓二さん

スタッフオススメ おさんぽスポット

vol.6



宇津ノ谷地区 ～歴史を感じる散歩道とハイキング～

今回ご紹介する宇津ノ谷地区は、静岡市と藤枝市の境にある、旧東海道丸子宿と岡部宿の間に位置し、いにしへの旅人たちが休憩した「歴史の街道」の面影を残す、静かな山あいにある集落です。

豊臣秀吉の陣羽織を保存した「御羽織屋」や厄除けの「十団子」で知られる慶龍寺の他、石畳の道沿いに瓦屋根の木造建築の家々が並び、まるでタイムスリップしたような風景が続きます。周辺には平安時代の伊勢物語でも歌われた鶯の細道、明治9年に全国初の銭取りトンネルとして開通したレンガ造りの明治のトンネルや、大正、昭和、平成に開通した4本のトンネルなど深い山々を貫く6本の道があり、古代から現在にいたる名所旧跡が数多く残されています。

飼育係 河村 茂保



飼育員さんオススメ 宇津ノ谷地区

住 所 ▶ 静岡市駿河区宇津ノ谷

交 通 ▶ 国道1号線を西進して「道の駅宇津ノ谷」を過ぎてすぐのトンネル手前を左折、しばらく行くと集落に入ります。

(詳細は静岡市ホームページより、カスタム検索に「宇津ノ谷地区」と入力、検索してもご覧いただけます。)

静岡市立 日本平動物園 のご案内

《開園時間》

9:00～16:30(入園は16:00まで)

《休日》

毎週月曜日(祝日、振替休日のときは翌平日)
12月29日～翌年1月1日まで

《入園料》

一般(高校生以上) / 610円
小・中 学 生 / 150円(未就学児は無料)
団 体 / 一般 490円
小・中学生 120円
(有料入園者20人以上を団体とします)

《駐車場》

普通車 / 610円(1回) バス / 1,540円(1回)

《ホームページ》

<http://www.nhdzoo.jp/>



《交通のご案内》

- JR静岡駅北口11番のりば
- JR東静岡駅南口のりばから
 - しずくエクスプレス「静岡日本平線」
 - 「動物園入口」下車徒歩5分
- 日本平自動車株式会社「動物園に行こう線」
- 「日本平動物園」下車すぐ

お車をご利用の場合

東名静岡I.C.より約20分
東名清水I.C.より約25分
新東名新静岡I.C.より約20分

電車・バスをご利用の場合



静岡市立 日本平動物園

ZOO しずおか 83

2017年7月1日発行
発行 / 一般財団法人 静岡市動物園協会
編集 / 静岡市立日本平動物園

Coca-Cola®



ハッピーを
あけよう。

